

# 軒 昂 会

軒昂会会報 第25号  
 発行者 日原 雄  
 編集者 田村千秋  
 発行日 平成18年7月  
 URL : http://ct.photo-web.cc/kkk/

会報は年3回予定しています。皆様の原稿お待ちしております。頂いた方にはお礼差し上げます。原稿の送り先 秦野市洪沢 3-2-7 〒259-1322 田村千秋 FAX:0463-88-2967

### 平成十七年度総会

場所 東名厚木健康センター  
日時 平成十八年三月十三日六時  
より総会後宴会(日帰り)

### 総会内容

藤沢一三さんを偲び黙禱  
日原会長挨拶  
会計報告 田村  
前年度よりの繰越金 四万九千九百四十四円  
十七年度会費・入会金 一万二千円  
十七年度支出 八万四千三百六十六円  
十八年度繰り越金 四十二万七千六百八十八円

### 野呂監査役の監査報告

会計報告通り決定されました。  
軒昂会会員の動向報告  
昭和六十五年軒昂会発足時  
軒昂会に席を置いた方の総員 百四名  
亡くなられた方 十三名

### 会費滞納や引越し等の理由で脱会された方

三十三名  
現在の会員数 五十七名

今回の総会場所について、出来るだけ多くの会員の出席を目的に、近場で行きやすい所

会費負担を出来るだけ軽減する等を考慮に入れて、日帰り東名厚木健康センターに決めました。が結果は参加者二十名で効果はなかったと幹事一同反省してあります。総会で次回の場所は、やはり一泊で時期は三月ごろが良いとの意見が多く出ました。

総会後宴会に移り一年ぶりの再開に酒を酌み交わし友好を更に深めました。またカラオケを独占した方等で予定時間を延長しました。

東名厚木健康センターは、今はやりの多目的温泉で、露天風呂やサウナを充分楽しめたようです。会員の中には数時間前から入場し、総会が始まる頃には既に出来上がっている方も居たようです。

田村



### 幻の挑戦

宮本新司

突然ですが、皆さんは「クイズミリオネア」というテレビ番組をご存知ですか？

毎週木曜日午後七時からフジテレビで、「みのもんだ」さんが司会しているクイズ番組です。答えを言う前にファイナルアンサーといって答えるのが特徴です。また、今は視聴者が参加できる番組が少なく視聴者が参加できて最高賞金額が一千万円(十五問)、というのが魅力です。たいていの方はこの時間帯は、NHKのニュースをご覧になっ

ていて見たことがないと思います。実は、私もそうです。木曜日だけは、ニュースの後のクイズアップ現代を見ながら、ニュースが終わってからこの番組を見ていました。

### 一次予選

今から二年前の話になります。ある日、何げなく「クイズミリオネア」に応募してみようかな？といった一言が始まりです。その一言を聞いた妻と娘に応募してみたらとけしかけられて引くに引けなくなり番組の終了後に応募募集の電話にダイヤルを回しました。そこで、第一回目のクイズが出題され(これは四択の問題です。これに正解しないと次に進めません。(第一回目は間違えたら正解するまで何回でもチャレンジする

### 二次予選

この問題はテープが回って正解すると氏名、年齢、住所、職業、電話番号、等をテープのガイダンスに従って入れます。(これが一月の下旬)このテープは一年三六五日二四時間いつでも回っていますのでいつでも、誰でも応募できます。実はスタジオに行くとテレビに出るのはこれが大変なので

### 二次予選

その後、約二週間ぐらいたったある夜いきなり製作プロダクションから電話が来ました。この半年間にこういう電話が入ったことがありませんかという、問いかけにいいえ有りませんと答えると、それではこれから二次予選の問題を出します。と言った問題が出されました。これは確か十問ぐらいたったと思います。一問一問問題に対して答えなければならぬので

### 二次予選

問題が出される前に、今から問題を出しますが誰かに相談したり、百科事典や、辞書で調べたりしないでくださいと念を押されました。(後で聞いた話ですが、その代わりに考える時間はいくらとってまかまわないうです。問題の内容は、日本史、世界史、経済、政治、芸能、グルメ...等でした。答えられたのは、八問ぐらいで一問は不正解、一問は答えが解かりませんでした。

問題が全て終了して何かをチエックしているようでした。さては、今答えたことをチエックしているのかな?と思ってい

たらいきなり、おめでとうございませう!二次予選通過ですといわれつきましては、三次予選を行ないますのでx月x日か、x月x日x時x分、x時x分、x時x分に、りんかい線天王洲アイルのフジテレビの制作プロダクションまで来ていただきますか?ただし、交通費、宿泊費は自己負担になります。と行かれました。これも後で聞いた話ですが、二次予選の電話は一次予選通過者の中からコンピュータがランダムに選

### 三次予選

指定された日時に指定場所に行くと、一目でそれと判るような人達がいきました。(当日は日曜日であり他にそのビルで働く人がい

なると担当者が現れ、ビルの中に入り入場許可証をもらいそれを首に掛けて入りました。担当者から一人一人都道府県名と名前を呼ばれ出欠の確認をされました。人数は約50人、60人ぐらいいいた

のでしようか、中に入り会議室のような場所に案内されそこで今日のスケジュールが発表されました。始めに簡単な自分のプロフィール作りです、氏名、住所は勿論のこと、家族構成、得意な科目、苦手な科目(具体的に、その中でも最も得意なもの、最も苦手なもの、)その他に、芸能界、料理、趣味関係、園芸、服飾、...等結構詳しく質問事項があり、記入するの

### 三次予選

が大変でした。大事なことで、もし、スタジオに行つた場合の、スタジオでの家族応援者(これを「EL」フォンといいます。四名の名前の記入をしこの四名の得意なジャンルも記入します。(例えば、芸能、スポーツ、化学政治...等)これが終わると次に五十問の四択の問題があり、それが終わるとディレクターによる個人面談があります。担当者の話ではペーパーテストより、ディレクターの個人面談が一番ウェイトが高いということでした。

以下裏面

### 軒昂会だより

現在の会員数は五十八名です。

### お願い

平成十七年度軒昂会会費二千元会計までお振込みをお願いします。振込み先 株式会社みずほ銀行厚木北口支店 口座番号 二二三六九〇〇

### 前氷河の造つた自然遺産

桜田忠男

ソグネフィヨルドのあるノルウェーは、ダイナミックな自然がたいへん美しい国です。

この国に行きますと北極圏のオーロラ、ヨーロッパ最北端のノールカップの「真夜中の太陽」など、日本では体験できない大自然を味わうことができます。

今回の世界自然遺産ソグネフィヨルドの旅は二〇〇六年五月に「北極圏・八日間の旅」のバックツアーで行きました。ノルウェーは国土の半分が北極圏に属してはいますが、夏が始まった時期でもあり快適な旅行を満喫しました。

フィヨルドは大昔、氷河によってつくり出された複雑な地形を指します。ノルウェーには代表的な4つのフィヨルドがあります。南北に連なる国土の海岸線は氷河が削り取った複雑な地形をしています。中央部にノルウェー最長(二〇七キロメートル)・最大のソグネフィヨルド、その下ベルゲン隣のハダングルフィヨルド、さらにその下にリーセフィヨルド、ソグネフィヨルドの上、北側にはガイランゲルフィヨルドがあります。

特にソグネ・フィヨルドの最も狭い入江の、鏡の様な水面の神秘さや氷河で削られた深谷の岩山の頂から流れ落ちる幾筋もの滝が直接水面にしぶきをあげる風景や、雪に覆われた山々などの地球的な歴史や、壮大な景観を見ながらのクルーズは、ダイナミックな北欧特有の自然に触れ感動の連続でした。



二時間半のクルーズが終わる再びバスの旅になり往路とは違ったルートを通りオスロまで戻りましたが、十一km・五km・二十四kmと続く長いトンネルの連続通過は日本では味わえない壮大なものでした。驚いたことにはトンネルの中ほどに観光バスが停車できるスペースが設けられていることでした。その部分だけ青いライトアップがなされていてあなたも氷河の中のトンネルにいるような錯覚におちいり観光客は歓声をあげます。さすが観光立国で名を挙げていく国だと思いました。海外旅行はこれからも目的を持って出かける予定ですが世界自然遺産探訪はあまり年をとらない内にできるだけでも探訪したいと考えています。今回の自然遺産探訪はとも素晴らしい旅でした。ただ欲を言えば限がありませんが天候に恵まれていればもっと良い写真が撮れたと思うと多少無念さが残ります。

いよいよペーパーテストの始まりです、でも何か変なのですか、というのはテレビを見てみると、挑戦者を紹介する時に、筆記試験の点数が何点だったかを発表するのですが、七一点とか、八五点とか、奇数の点数が付いているのに五〇問では奇数の点が付けられないので何かおかしいと思いつつペーパーテストを終了しました。

次はいよいよディレクターとの個人面談です。全員待合室に案内され名前を呼ばれた順に面談室に入っていきます。その間、テレビで過去の番組のCMが流されてそれを見ながら順番を待っています。しばらくそれを待っていたり、今日の出席者と雑談したのですが結構遠方から来ている人がいてビックリしました。例えば北のほうでは、山形県から、南のほうでは、鹿児島県から来ていたり、大阪から来た人の一人は飛行機で来た人もいれば、もう一人は寝台特急で来た人もいました。神奈川県からも、戸塚から一人、平塚からも一人来ていました。遠方から来る人は自費で大変だなと思うと同時に、一千万円の魅力はたいしたものだと思えば複雑な気持ちになりました。

ディレクターとの面談に行ったら人を見てみると、呼ばれてもその数分して戻ってくる人と、三十分ぐらいして戻ってくる人がいることに気がきました。しかも三十分ぐらいして戻ってくる人が送ってくる人は決まった係りの人が送ってくるのです。数分して戻ってくる人は係りの人が送ってきたりこなかったかして戻ってくるに三十分ぐらいして戻ってくる人は、必ず係りの人が送りに付いているのです。この戻ってくる時間差は何なのだろうと考えると、私の名前が呼ばれたら面談室に入っていきます。そこには、ディレクターと、テレビ用のカメラが据え付けられておりカメラマンもいました。ディレクターは先ほど作成した私のプロフィールを見ながら、私の氏名、出身県名、家族構成、それと、もし、一千万円獲得した

場合の賞金の使い道等を質問し、それに対して説明しました。(三次予選が決まった段階で一千万円の使い道を二通りぐらい考えてきてくださいといわれています。)私の場合ですか?それは置いて、一千万円の使い道として参考のために一応写真を持参したのですが、ディレクターが写真をもらってもいいですか?と言われたのですが持参した写真は一枚づつしかないので、コピーをとつてもいいかとしました。この間、カメラマンは時々テレビカメラを覗いていました。面談の終わりにディレクターからカメラに向かって何か叫んでくださいといわれ、x x x と叫びました。その後、今日はこの後時間が有りませんか?と聞かれ有りませと答えると隣の部屋の係りの女性を呼びテストをお願いしました。といって私を女性に紹介しました。

女性の後についていきながら、今日のスケジュールでは聞かされていなかったのでこれからいったい何が始まるのかな?と思いつつ係りの女性の後についていきながら疑問を持ちました。別室に案内され、これから百問のテスト(これも四択の問題です。)をします。終了したら教えてくださいといわれそこで初めて、ああそうか、本番の時に挑戦者の筆記試験の点数を発表したのはこのテストかと改めて納得しました。また、ディレクターとの個人面談が早く終了した人と、遅い人の差はこれかと思いました。つまり、この百問の筆記試験を受けた人は三次試験を合格です。受けられない人は不合格ということになります。筆記試験が終了して係りの女性に、エレベーターの前まで送ってもらってエレベーターを待っているときに今日知り合った人から、遅かったですね?と云われた時はなんと答えていいかわからなかったです。

続く

### 「天田財団基金による研究報告書」Webサイト発信

田村千秋

昨年十二月、全国的なメーリングリスト「電脳老人力(メンバー数約百名)」の関東ブロックメンバー十数人が「FMS」に集まり昼食会と展示場を見学することになりました。

そこで展示機械等の説明を、以前に、制御技術部でシステムラインや板金機械の自動化等の仕事を共に行った松元正昭さん(現天田財団専務理事)にお願ひすることにしました。それが縁で、天田財団の研究報告書(十五年分)十五冊と「Form Tech Review」(十五冊)総頁数約五千頁をインターネットで公開したい旨の相談がありました。

少し時間を頂き、検討の結果 Acrobatを使用すれば何とかなる確信を得、お引き受けすることにしました。財団の協力を得て本年二月完成しました。

これにより、ウェブサイトで研究報告書の内容すべてが閲覧出来るようになりました。  
URL <http://amadazaidan.harugsi/>です、是非ご覧下さい。

### 天田財団について(天田財団ホームページより抜粋)

- 目的事業内容
    - (1) 金属等の塑性加工に必要な機械及び加工システム技術の調査・研究に対する助成
    - (2) 金属等の塑性加工に必要な機械及び加工システム技術に関する国際交流の促進及びその助成
    - (3) 前記(1)、(2)にかかわる成果の普及啓発
    - (4) そのほか、本財団の目的を達成するために必要な事業
- 以上のとおり事業内容は、大別して「研究助成」と「国際交流助成」の二つの事業から成り立っており、その助成対象は、いずれも金属等の塑性加工に必要な技術の開発研究の領域に限られ、これらに携わ

大学・高専・学協会及びこれに準ずる研究機関に所属する研究者個人、又はこれらの団体に助成されます。

「研究助成」には、研究開発助成と奨励研究助成があり、なかでも奨励研究助成は萌芽的な内容の研究課題をもった若手研究者を助成するものであります。

「国際交流助成」は、国際会議等の開催準備助成、国際会議等参加助成及び外国人技術者養成援助助成の三つに分けられています。

その他、以上の事業にかかわる成果の普及啓発も、大切な事業の一つであります。

昭和六十二年五月二十八日

設立 昭和三十二年五月二十八日  
主務官庁 経済産業省 本財団は、金属等の塑性加工に必要な機械に関する基礎的・応用的な技術並びにその関連技術の研究に係る助成を通じて、塑性加工機械に関する技術の向上を図り、もって我が国の産業及び経済の健全な発展に寄与することを目的とします。

AMADA FOUNDATION FOR METAL WORK TECHNOLOGY

### 編集後記

宮本会員より興味あふれる原稿頂きました。九頁にも及ぶ大作であります、数回に分けて掲載します。

会報の原稿に苦勞しています、皆様からの投稿お待ちしております。そんな中、宮本さんの自主的な原稿提供に頭が下がります。

編集担当

お知らせ 会員のページ 掲示板 全報 懐かしのアルバム Top

Up Date By C.Tamura 06/7/03

### 軒昂会ホームページリニューアルしました

リニューアルしたポイントは「懐かしのアルバム」です、約10年前の会員全員の写真やAMTに縁のあった方々(会員でなかった方、亡くなられた方)も沢山載せています。ホームページアドレス <http://ct.photo-web.cc/kkk> ご覧下さい。



以前に紹介しました「GoogleEarth」進化しています。エッフェル塔に入場する行列まで確認できます。サテライトから眺めた世界の観光地が、パソコンで手に取るように見ることが出来ます。地球規模から目的地を探すのが大変ですがゲーム感覚でやっています。日本国内なら緯度経度を住所から別のソフトで検索しその数字をGoogleEarthに入れば瞬く間にあなたの自宅が現れます。